

コンボドライブ
(CD-R/RW&
DVD-ROM ドライブ)

取扱説明書

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Photo-CDは米国イーストマン・コダック社の登録商標です。

その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびはコンボドライブ（CD-R/RW&DVD-ROM ドライブ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書では、コンボドライブの使い方について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。また、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」もあわせてお読みください。

表記について

本書の中で使用している記号の意味は次のとおりです。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載してあります。



参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載してあります。



説明文が次ページに続くことを示します。



参照ページを示します。

1 2

操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

目次

はじめに	1
1 添付品の確認	3
2 本ドライブの特長	4
本ドライブの特長	4
使用可能なメディア	5
3 各部の名称と働き	6
前面パネル	6
ランプ表示	7
背面パネル	7
4 取り扱い上の注意	8
使用時の取り扱い	8
メディアの取り扱い	9
5 本ドライブの装着	10
ジャンプスイッチの設定	10
装着の手順	11
6 本ドライブの使い方	13
メディアのセットと取り出し	13
メディアへの書き込み	13
DVD VIDEOの再生	16
オンラインマニュアルの見方	17
7 ソフトウェアのインストールについて	18
8 困ったときに	19

添付品の確認

コンボドライブ(以下、本ドライブ)には、次の梱包品が添付されています。すべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、お買い上げいただきました販売店、サービスセンターまたは修理センターまでご連絡ください。

- ☐ コンボドライブ本体
- ☐ コンボドライブ取扱説明書(本書)
- ☐ B's Recorder GOLD/B's CLiPパッケージ
- ☐ WinDVDパッケージ



参考

- コンピュータと本ドライブを同時に購入した場合、本ドライブはあらかじめコンピュータに装着されています。
- コンピュータと本ドライブを同時に購入した場合、「B's Recorder GOLD」と「WinDVD」は、あらかじめHDDにインストールされています。「B's CLiP」はインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

 p.18「ソフトウェアのインストールについて」

- 各ソフトウェアのマニュアルは、オンラインマニュアル(pdf)で提供されています。

 p.17「オンラインマニュアルの見方」

2

本ドライブの特長

本ドライブは、CD-ROMメディアの読み出しのほかに、CD-RメディアやCD-RWメディアへの書き込み、DVD-ROMメディアの再生が可能なドライブです。

本ドライブの特長

- 各種フォーマットのCD-ROMメディアの読み出しが可能です。読み出しの速度は、最大48倍速です。
- CD-Rメディアにデータの書き込みが可能です。書き込みの速度は48倍速、40倍速、32倍速、24倍速、16倍速、12倍速、8倍速、4倍速から選択できます。メディアへの書き込みを行う際は、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。
- CD-RWメディアに、データの書き込み・書き換えが可能です。書き込みの速度は、24倍速、16倍速、12倍速、10倍速、8倍速、4倍速から選択できます。メディアへの書き込み・書き換えを行う際は、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。
- DVD-ROMメディアの読み出し(再生)が可能です。読み出しの速度は、最大16倍速です。

使用可能なメディア

CD-ROMメディア

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。
CD-ROMメディアに書き込みをすることはできません。

CD-Rメディア

データ、音楽、画像などを一度だけ書き込むことができます。書き込まれたデータなどを消去したり、移動したりすることはできません。ただし、マルチセッションという方法により、CD-Rメディアに空き容量があれば、繰り返し追記することができます。

CD-RWメディア

書き込んだデータ、音楽、画像などをフォーマットし、繰り返し書き込みが行えます。

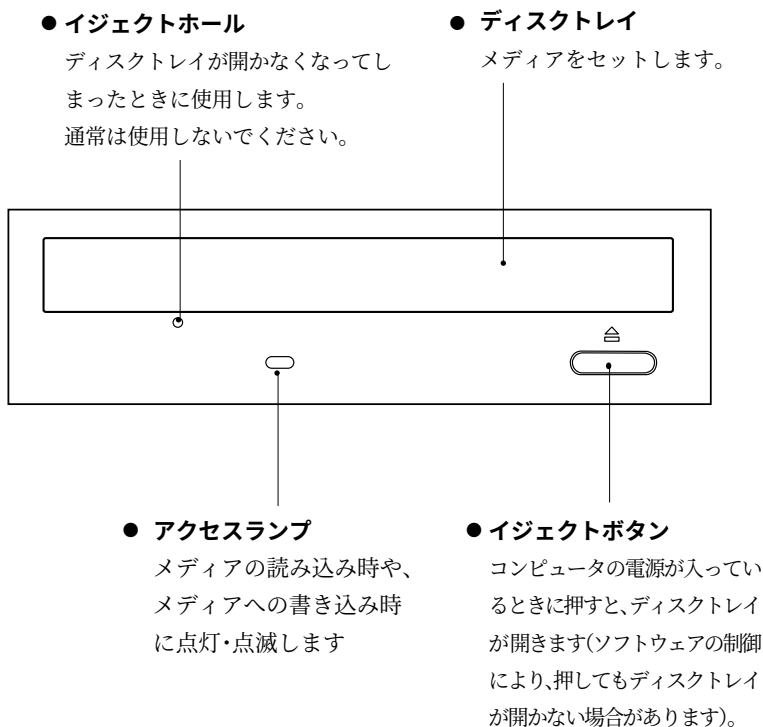
DVD-ROMメディア

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。
CD-ROMにくらべて大容量のデータが登録されています。DVD-ROMメディアに書き込みをすることはできません。

各部の名称と働き

各部の名称と働きは、次のとおりです。お使いのコンピュータの機種により、形状が多少異なる場合がありますが、名称および働きは同じです。

前面パネル



ランプ表示

アクセスランプの表示と動作状態の関係は、次のとおりです。

アクセスランプ表示	動作状態
緑（点滅）	メディアへのアクセス中、メディアの再生中
赤（点灯）	メディアへの書き込み中

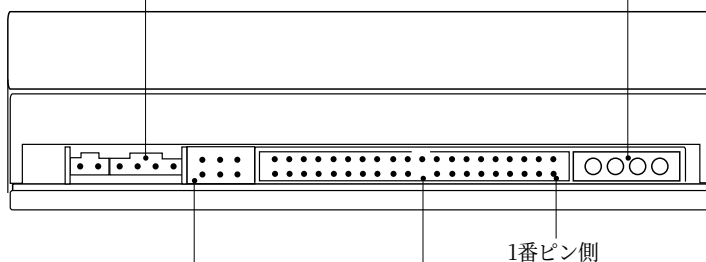
背面パネル

● CDオーディオコネクタ

CDオーディオケーブルを接続します。

● 電源コネクタ

コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。



● ジャンプスイッチ

本ドライブの優先順位（マスタ、スレーブ、ケーブルセレクト）を設定します。

● インターフェースコネクタ

IDEインターフェースケーブルを接続します。

取り扱い上の注意

本ドライブをお使いになる前に、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』―「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」を本章とあわせて必ずお読みになり、正しく取り扱ってください。



- ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意してください。けがの原因になります。
- ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。

使用時の取り扱い

- ディスクトレイを出したまま放置しないでください。故障の原因になります。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- 本ドライブは、お使いになるコンピュータの温湿条件下で使用してください。詳しくは、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』―「機能仕様一覧」をお読みください。
- 磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になる場合があります。
- 結露した状態で使用しないでください。寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露(水滴が付着する状態)し、誤動作や故障の原因になります。メディアを取り出して約1時間ほど放置した後に、使用してください。
- 揮発性の殺虫剤などをかけないでください。ケースの変形や塗装がはげる原因になります。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- メディアの挿入や取り出しのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。

メディアの取り扱い

- 直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露が生じる場合があります。
- 上に物を載せないでください。
- 汚したり、落としたりして傷を付けないでください。
- クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。
- ボールペンなどの先の硬いもので文字を書いたり、シールや紙を貼らないでください。
- アクセスランプ点灯・点滅中は、メディアを取り出したり、コンピュータの電源スイッチを押したり、リセットしないでください。
- 使用後は、コンピュータにセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。
- ゴミやホコリの多いところでの使用や保管はしないでください。
- 信号面(文字などが印刷されていない面)に触れないでください。
- レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。
- レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

本ドライブをコンピュータに装着する方法について説明します。あとから装着する場合や、取り外したあとに再度装着する場合などに参照してください。お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』—「システムの拡張」もあわせてご覧ください。

5.25型ドライブ装置の取り付け・取り外しができないコンピュータをお使いの場合は、本章は必要ありません。

ジャンプスイッチの設定

本ドライブは、コンピュータに標準で装備されているIDEインタフェースに接続します。IDE機器 (IDE HDD、IDE CD-ROMドライブやATAPI MOなど) を複数使用する場合は、すべてのIDE機器にマスタやスレイブ、ケーブルセレクトと呼ばれる優先順位の設定をする必要があります。

 『ユーザーズマニュアル』—「IDE装置の設定」

優先順位の設定は、本ドライブ背面のジャンプスイッチで行います。あらかじめお使いのコンピュータに接続されているすべてのIDE機器の数と種類を確認してください。ジャンプスイッチの設定方法は、次のとおりです。

1

本ドライブを含め、接続されているすべてのIDE機器に対して、優先順位を決定します。

 『ユーザーズマニュアル』—「IDE装置の設定」

5.25型ドライブを2台接続する場合は、2台ともセカンダリコネクタに接続します。その場合、セカンダリコネクタの優先順位を次のように設定してください。

マスタ	スレイブ
CD-ROMドライブ	コンボドライブ

2

手順1で決定した本ドライブの優先順位を、ジャンプスイッチで設定します。本ドライブのマスタ、スレイベ、ケーブルセレクトのジャンプスイッチの位置は、次のとおりです。

 p.7「背面パネル」

ドライブ設定	ジャンプスイッチの位置
マスタ	
スレイベ	
ケーブルセレクト	

装着の手順



警告

コンピュータの電源ケーブルを電源コンセントに接続した状態で、本ドライブを装着しないでください。感電や火傷の危険があります。

■ドライブベイへの装着

本ドライブは、コンピュータの5.25型ドライブベイに装着します。装着する際は、お使いのコンピュータに添付の『ユーザズマニュアル』-「システムの拡張」をご覧ください。



■各ケーブルの接続

コンピュータに装着したあとは、各ケーブルを接続します。各コネクタの位置は、p.7「背面パネル」をご覧ください。コネクタにはそれぞれ誤挿入防止のための切り欠きがあります。切り欠きとケーブル側コネクタの突起を合わせて接続してください。お使いのコンピュータに添付の『ユーザズマニュアル』-「ドライブ(IDE)装置の接続例」も参照してください。

1

本ドライブ背面のIDEインタフェースコネクタに、IDEインタフェースケーブルを接続します。

2

スピーカから音を出力するために、CDオーディオケーブルを接続します。

● サウンドボードをお使いの場合

本ドライブのCDオーディオコネクタと、サウンドボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。

● メインボード上にあるサウンド機能をお使いの場合

本ドライブのCDオーディオコネクタと、メインボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。

メインボード上にサウンド機能が搭載されていないモデルもあります。

3

本ドライブの電源コネクタに、コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。

6

本ドライブの使い方

本ドライブの使い方について説明します。使用する際は、次の注意事項を守り、正しくお使いください。



ヘッドフォンやスピーカを使用する場合は、ボリューム調節ダイヤルを最小に調節してから接続してください。ボリューム調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

メディアのセットと取り出し

メディアのセット方法と取り出し方法については、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』―「CD-ROMドライブを使う」をご覧ください。ドライブの形状は異なりますが、基本的な操作方法は同じです。その際には、「CD-ROMドライブ」を「コンボドライブ」と読み替えてください。



本ドライブを縦置きで使用する場合、8cmメディアの使用はできません。

メディアへの書き込み

本ドライブでは、データ、音楽、画像などをCD-Rメディア、CD-RWメディアに書き込むことができます。また、メディアに書き込む際に発生するバッファアンダーランエラー*を自動的に防止する機能を搭載しています。そのため、書き込みエラーを未然に防ぐことができ、メディアを無駄にすることなく、安心して書き込みが行えます。

* 一定の速度でメディアへ書き込めないと、発生するエラーのことです。

メディアへの書き込みは、書き込むデータをドライブ側のバッファメモリに一時的に蓄えながらメディアに書き込んでいます。書き込み中にコンピュータで他の作業をするなど、バッファメモリのデータを使い切ってしまうと発生します。

■メディアへの書き込み時の注意

メディアへの書き込みを行っているときに、Windowsが省電力モードに切り替わると、メディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを行う前に、省電力機能を無効にしてください。

『ユーザーズマニュアル』-「省電力機能を使う」

省電力機能を無効にする方法は次のとおりです。

- 1** [スタート]-「コントロールパネル」をクリックします。
Windows 2000の場合は、[スタート]-「設定」-「コントロールパネル」をクリックします。
- 2** 「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリックします。
Windows 2000の場合は、「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。
- 3** 「モニタの電源を切る」など、すべての項目の時間設定を「なし」に設定します。
- 4** [適用]をクリックし、[OK]をクリックします。これで、省電力モードが無効になります。

■ライティングソフトウェア

メディアへ書き込みをする場合は、ライティングソフトウェアが必要です。本ドライブには、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」が添付されています。購入時には、「B's Recorder GOLD」のみインストールされています。「B's CLiP」は必要に応じてインストールしてください。

 p.18「ソフトウェアのインストールについて」

「B's Recorder GOLD」の詳しい使用方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

 p.17「オンラインマニュアルの見方」

■ 適応フォーマット

本ドライブは、使用目的に合わせたフォーマット形式でメディアに書き込むことができます。書き込み、読み取り可能なフォーマット形式は、次のとおりです。ただし、本ドライブで適応しているフォーマット形式でも、ライティングソフトウェア側で適応していないフォーマット形式は使用できません。ライティングソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。適応フォーマットをご確認ください。

フォーマット	書き込み (Write)	読み取り (Read)
CD-DA	○	○
CD-G	×	×
CD-TEXT	○	○
CD-ROM (Mode1)*	○	○
CD-ROM XA (Mode2 Form1・Form2)*	○	○
Mixed Mode CD-ROM (CD-ROM+CD-DA)	○	○
Photo-CD*	○	○
Video-CD	○	○
CD-I	×	×
CD-EXTRA	○	○

*: マルチセッション機能を含む
マルチセッション機能とはCD-Rメディアに書き込みを行ったあと、空き容量があれば99回まで追記できる機能です。

DVD VIDEO の再生

本ドライブでは、DVD VIDEOの再生ができます。コンピュータ購入時には、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェア「WinDVD」がインストールされています。「WinDVD」の詳しい使用方法是、オンラインマニュアルをご覧ください。

 p.17「オンラインマニュアルの見方」

■ DVD VIDEO 再生時の制限

「WinDVD」でDVD VIDEOの再生をする場合に、次の解像度、色数、リフレッシュレートの組み合わせではDVD VIDEOの再生できません。DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度などを確認して変更してください。

表示できない組み合わせ

解像度	色数	リフレッシュレート
1024×768ドット	「16ビット」または「32ビット」	「最適」または「85Hz」
1280×1024ドット	すべて	すべて

1024×768ドットで表示する場合は、リフレッシュレートを「60Hz」～「75Hz」に設定してください。

オンラインマニュアルの見方

本ドライブに添付されている各ソフトウェアのマニュアルは、オンラインマニュアル(pdf)で提供されています。

各ソフトウェアの詳しい使用方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。

● B's Recorder GOLD

B's Recorder GOLDのマニュアルは、[スタート]メニューから見るができます。

[スタート]－「(すべての)プログラム」－「B.H.A」－「B's Recorder GOLD5」

● B's CLiP

B's CLiPのマニュアルを見るためには、B's CLiPをインストールする必要があります。B's CLiPのマニュアルは、[スタート]メニューから見るができます。

[スタート]－「(すべての)プログラム」－「B.H.A」－「B's CLiP」

● WinDVD

WinDVDのマニュアルは、「WinDVD CD-ROM」に登録されています。

**「WinDVD CD-ROM」を本ドライブにセット－[スタート]－「マイコンピュータ」
(Windows 2000は「マイコンピュータ」をダブルクリック)－CD-ROMアイコンを
右クリック－「開く」－「Manual」**

本章では、本ドライブに添付されているソフトウェアのインストールについて説明しています。

● B's Recorder GOLD

コンピュータ購入時にあらかじめインストールされています。Windowsを再インストールした場合は、「B's Recorder GOLD」のインストールが必要です。

インストール方法については、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド(PDFファイル)をご覧ください。

クイックガイド(PDFファイル)を開く手順は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」を本ドライブにセットー[スタート]ー「マイコンピュータ」(Windows 2000は「マイコンピュータ」をダブルクリック)ー**CD-ROMアイコンを右クリックー「開く」ー「BsGOLD5」ー「DOC」ーquick**

● B's CLiP

コンピュータ購入時にインストールされていません。必要に応じて、「B's CLiP」のインストールを行ってください。

インストール方法については、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド(PDFファイル)をご覧ください。

クイックガイド(PDFファイル)を開く手順は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」を本ドライブにセットー[スタート]ー「マイコンピュータ」(Windows 2000は「マイコンピュータ」をダブルクリック)ー**CD-ROMアイコンを右クリックー「開く」ー「BsCLiP」ー「DOC」ーQuick**

● WinDVD

コンピュータ購入時にあらかじめインストールされています。Windowsを再インストールした場合は、「WinDVD」のインストールが必要です。

インストール方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

 p.17「オンラインマニュアルの見方」

困ったときに

本ドライブの調子がおかしいと感じたときは、下記の項目を確認してみてください。また、添付ソフトウェアのマニュアルも参照してください。確認後も状況が変わらない場合は、お買い上げいただきました販売店、サービスセンターまたはテクニカルセンターまでご連絡ください。

現象 **コンピュータが起動しなくなった。本ドライブにアクセスするとコンピュータが停止(ハングアップ)する。**

- 確認と対処**
- コンピュータの使用環境について、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「安全にお使いいただくために」、「製品保護上の注意」および本書「取り扱い上の注意」の項目を確認してください。
 - 本ドライブに、IDEインターフェースケーブルおよび電源ケーブルが正しく接続されているか、また、ケーブルに損傷などがないかを確認してください。
 - p.10「ジャンプスイッチの設定」を参照して、本ドライブおよびほかのIDE機器の優先順位(マスタやスレーブなど)の設定を確認してください。

現象 **セットしたメディアにアクセスできない。**

- 確認と対処**
- メディアを挿入した直後は、データの読み込み準備のためアクセスできません。この場合は、しばらく待ってから、もう一度アクセスしてみてください。
 - メディアの表面に傷などがないか確認してください。
 - 別のCD-ROMにアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできないメディアに問題がある可能性があります。
 - メディアが正しくセットされているか確認してください。

- メディアのフォーマット形式が、本機に対応していない可能性があります。フォーマット形式を確認してください。

 p.15「適応フォーマット」

- 本ドライブとの相性により、書き込み済みのCD-RメディアまたはCD-RWメディアを読み込めない場合があります。

現象

ディスクトレイが開かない。

確認と対処

- コンピュータの電源が入っているか確認してください。
- 「B's CLiP」でフォーマットしたメディアは、イジェクトボタンを押しても取り出すことができません。メディアの取り出し方法については、「B's CLiP」のオンラインマニュアルをご覧ください。

 p.17「オンラインマニュアルの見方」

- コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルが、本ドライブに接続されているか確認してください。
- 上記の作業を行っても取り出せない場合は、ディスクトレイを強制的に開く方法があります。詳しくは、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』—「CD-ROMドライブを使う」—「強制的なCD-ROMの取り出し」をご覧ください。

現象

メディアをセットすると画面が開いてしまう。

確認と対処

- セットしたメディアに自動再生機能がある場合は、自動的に画面が開きます。メディアに登録されている内容を見たい場合は、[キャンセル]または $\boxed{\times}$ をクリックして、画面を閉じます。そのあと、[スタート]—「マイコンピュータ」(Windows 2000の場合は「マイコンピュータ」をダブルクリック)—CD-ROMアイコンを右クリックして、「開く」を選択します。

現象

音楽CDやDVD VIDEO再生時に、スピーカやヘッドフォンから音声が出力されない。

確認と対処

- Windows XPでは、ヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続しても、音声を出力することはできません。
- ヘッドフォンが、ヘッドフォンジャックに正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルに傷や損傷などがないか確認してください。
- ボリュームの調節が適切か確認してください。
 『ユーザズマニュアル』-「サウンド機能を使う」
- アンプ内蔵スピーカが、コンピュータの背面側にあるライン出力コネクタに接続されているか確認してください。サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクタに接続されているか確認してください。
- アンプ、またはアンプ内蔵スピーカのスイッチが入っているか確認してください。
- p.12「各ケーブルの接続」を参照して、CD オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルに傷や損傷などがないか確認してください。

現象

メディアへの書き込みができない。

確認と対処

- 本ドライブの対応速度にあわせたメディアを使用しているかどうか確認してください。

 p.4「本ドライブの特長」

- 本ドライブとの相性により、セットしたCD-RメディアまたはCD-RWメディアに書き込めない場合があります。
- メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。
- メディアの表面に汚れや傷などがないか確認してください。
- メディアの残容量があるか確認してください。
- ヘッドレンズなどが汚れていないか確認してください。汚れが原因で、書き込みができない場合があります。
- メディアへの書き込みをする場合には、専用のライティングソフトウェアが必要です。本機には、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」が添付されています。コンピュータ購入時には、「B's Recorder GOLD」のみインストールされています。「B's CLiP」は、必要に応じてインストールしてください。

 p.18「ソフトウェアのインストールについて」

- Windows XPで「B's CLiP」をご使用の場合、[スタート]－「マイコンピュータ」－CD-ROMアイコンを右クリック－「プロパティ」－「書き込み」タブ－「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外してみてください。

現象

書き込み中に書き込みエラーが発生する。

確認と対処

- Windows が省電力モードに切り替わると、CD-RメディアまたはCD-RWメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力機能を無効にしてください。

 p.14 「メディアへの書き込み時の注意」

現象

DVDの再生ができない。

確認と対処

- 本ドライブでDVD VIDEOを再生する場合は、「WinDVD」を使用します。「WinDVD」がインストールされているか確認してください。購入時には、あらかじめ「WinDVD」がインストールされています。

- ディスプレイの画面解像度や色数、リフレッシュレートの設定を確認してください。

 p.16「DVD VIDEOの再生」

- WinDVDを起動して、「プロパティ」-「ビデオ設定」タブ-「ハードウェア動き補償」のチェックを外してみてください。詳しくは「Win DVD」のオンラインマニュアルをご覧ください。

 p.17「オンラインマニュアルの見方」

MEMO

L/48161H/48244816



R100

古紙配合率100%再生紙を
使用しています

03.07.04 (EP)